

メタデータ・データベース共同構築事業説明会の開催

本誌7号でお知らせしたメタデータ・データベース共同構築事業の説明会を下記のとおり開催します。

説明会では、入力システムの紹介を行うとともに、データ作成対象の選定やデータ記述方法等、実際のデータ作成にあたって必要な事項を説明します。また併せて、国際的な事業展開を中心とした NACSIS-CAT/ILL の今後の予定や、学術雑誌目次速報データベースの強化の予定等についても紹介します。

1. 会場・開催日時

地区	日時	会場
北海道地区	平成14年10月16日(水) 10:00~16:30	北海道大学附属図書館4階会議室 (札幌市北区北8条西5丁目)
東北・関東地区	平成14年10月2日(水) 10:00~16:30	学術総合センター2階一橋記念講堂 (千代田区一ツ橋2-1-2)
中部地区	平成14年10月1日(火) 10:00~16:30	名古屋大学大学院多元数理科学研究科大講義室 (509号室)(名古屋市千種区不老町)
近畿・中国・ 四国地区	平成14年10月8日(火) 10:00~16:30	京都大学農学部大講義室(W100) (京都市左京区北白川追分町)
九州地区	平成14年10月11日(金) 10:00~16:30	九州大学附属図書館視聴覚ホール(新館4階) (福岡市東区箱崎)

2. 内容

午前の部(国立情報学研究所の図書館向け事業について) (1) NACSIS-CAT/ILLの展開について (2) システム間リンクについて (3) 多言語対応の現状について (4) 紀要ポータルとNACSIS-ELSについて 質疑応答	10:00-12:00
午後の部(メタデータ・データベース共同構築事業について) (1) 事業の概要 (2) メタデータ・データベース構築システム デモ (3) データ作成の実際(情報資源の選定基準, 記述要素) (4) 大学ポータルとの関係 質疑応答	13:30-16:30

3. 申込方法及び問合せ先

下記よりお申し込みください。

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/metadata/setsumeikai/>

- ・ 申込締め切り：平成 14 年 9 月 24 日（火）
- ・ 午前の部及び午後の部のいずれか一方のみの参加も可能です。
- ・ 地区割りは目安ですので，該当地区以外の会場を希望いただいても結構です。

上の方法によることができない場合は，次ページの「メタデータ・データベース共同構築事業説明会申込書」に御記入の上，下記へ郵送か FAX でお申し込みください。

〒101-8430

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

国立情報学研究所 開発・事業部コンテンツ課

メタデータ・データベース共同構築事業説明会担当 宛

FAX：03-4212-2375 TEL：03-4212-2360,2361

E-mail：gakuso@nii.ac.jp

4. 希望会場，来場時の注意

- (1) 希望どおり参加いただける場合は，特にこちらからは連絡しません。当日会場に直接お越しください。
- (2) 会場の都合で，人数の調整をさせていただく場合がありますので，御了承ください。
- (3) 会場の場所については，NII のホームページで確認できるようにします。
- (4) 各会場とも，お車での来場は御遠慮ください。

(文字情報係)

メタデータ・データベース共同構築事業説明会 申込書

FAX:03-4212-2375

国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課
メタデータ・データベース共同構築事業説明会担当 宛

平成 14 年 月 日申込

機関	
所属	
氏名	
電子メールアドレス	
電話番号	(内線)
FAX 番号	
希望会場 等	御希望の会場にチェックしてください。 北海道地区会場 平成 14 年 10 月 16 日 (水) 東北・関東地区会場 平成 14 年 10 月 2 日 (水) 中部地区会場 平成 14 年 10 月 1 日 (火) 近畿・中国・四国地区会場 平成 14 年 10 月 8 日 (火) 九州地区会場 平成 14 年 10 月 11 日 (金)
	参加希望の内容についてチェックしてください (1)。 全日参加する 午前の部のみ参加する 午後の部のみ参加する
参加人数 (2)	名

- 1 午前の部 10:00-12:00 (国立情報学研究所の図書館向け事業について)
 午後の部 13:30-16:30 (メタデータ・データベース共同構築事業について)
- 2 課, 係等を取りまとめて代表者が申し込む場合は, 参加者の合計人数 (本人も含む) を記入してください。通常の申込みの方は無記入で結構です。

韓国・朝鮮語資料の登録開始

本誌5号でお知らせした「韓国・朝鮮語資料の取扱い」及び同解説に基づく、韓国・朝鮮語資料の書誌所蔵登録の運用を平成14年9月から開始しました。なお、韓国・朝鮮語資料向けの参照ファイルとして大韓民国国立中央図書館作成の「KORMARC」の導入を予定しています。導入時期等については本誌次号以降にてお知らせします。

また、韓国・朝鮮語資料の目録作成作業の参考ツールとして「漢字ハングル変換ツール」を公開しています。「漢字ハングル変換ツール」は、任意の漢字に対し、対応するハングル文字を調べることができるものです。ヨミ入力の際などに参考資料として御活用ください。

「漢字ハングル変換ツール」を含め、関連資料を次のURLにて公開しておりますので御覧ください。

NACSIS-CAT 多言語対応に関するホームページ

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/TAGEN/mokuji.html>

(文字情報係)

目録システムの変更

平成14年9月5日に、以下のとおり、目録システムの変更を行いました。

1. UTL フィールドの繰り返し数の変更

対象：新CAT，旧CAT

内容：フィールドの繰り返し数を，30回から255回に変更しました。

2. 出版国コード及び言語コードの変更

対象：新CAT，旧CAT

内容：本誌5号でお知らせした，出版国コード及び言語コードの新規追加分が入力できるように変更しました。

3. リンクフィールドへの「その他のヨミ」自動セット

対象：多言語対応新CAT (CATP/1.1) のみ

内容：リンク形成時に，リンク参照先のレコードに「その他のヨミ」がある場合，従来は「その他のヨミ」以外のフィールドをリンク参照元レコードにセットしていましたが，「その他のヨミ」も含めて自動セットするよう変更しました。

4. 所蔵レコードのインデクス (LOCKEY) 追加

対象：新 CAT のみ

内容：所蔵レコード登録・更新時に，新たに「LOCKEY」インデクスが作成されるようにしました。LOCKEY とは，「FA 番号」と「配置コード(LOC)」を組み合わせたものです。

(例)

FA 番号	配置コード(LOC)	LOCKEY インデクス
FA000015	資料室	FA000015 資料室
	空値 (@)	FA000015

既存の所蔵レコード全件については，NII にて LOCKEY の追加を行う予定です。

5. 漢字統合インデクス - 漢字統合定義表の変更

対象：新 CAT，旧 CAT

内容：漢字統合インデクスにおける漢字統合定義表の不具合 (2 点) を修正しました。

- ・「心」の統合グループから「腎」と「腎 (U80BE)」とを外して，新たに「腎」でまとめました。

これにより，「心臓」と「腎臓」とを区別して検索できるようになりました。

- ・定義表から漏れていた「概 (U69EA)」を，「概」の統合グループに追加しました。

(コンテンツ形成管理係)

「目録システム利用マニュアル」第 5 版の刊行

「目録システム利用マニュアル」の第 5 版を，平成 14 年 10 月に刊行します。

第 4 版までの「登録編」と「検索編」を 1 冊にまとめ，新 CAT システムにあわせ，内容を大幅に改訂しました。

各参加機関への発送は，平成 14 年 11 月を予定しています。

(コンテンツ形成管理係)

東京大学東洋文化研究所「現代中国書データベース」の RECON ファイルへのロード

平成 14 年 8 月 1 日に、東京大学東洋文化研究所から提供された「現代中国書データベース」を RECON ファイルに追加しました。

「現代中国書データベース」は、東洋文化研究所で所蔵する、主として 1912～1990 年に刊行された現代中国書のデータで、書誌及び所蔵レコード各 23,466 件からなっています。

運用については、次の点に御注意ください。

1. 従来の RECON ファイルに準じます。

(参考：オンラインシステムニュースレター抜刷集 3.5.2「システム運用，RECON ファイル，遡及入力データの運用について」)

2. 遡及データですので、修正 (EDIT コマンド使用) 時には、手許の現物資料に基づいて注意深く修正を行ってください。(東洋文化研究所への問い合わせは不要です。)

特に留意すべき点は次のとおりです。

・ (日本語ヨミ)

NACSIS-CAT の基準と合わない場合がありますので、必ず確認し、必要に応じて修正を行ってください。

・ (PTBL フィールド)

データがあっても、親書誌に相当しないもの場合がありますので、規定の情報源にあるかを確認し、親書誌に該当しなければ、データ自体を削除してください。

・ (NOTE フィールド)

「記述は遡及データによる」との注記を必ず削除してください。

(コンテンツ形成管理係)

「目録で今の操作は大丈夫？」(3)

日頃のレコード調整業務を通じて、「案外知らない人が多いのでは」と感じた基本的なことを、本誌2号、3号に引き続き掲載します。

事例4) どこに問い合わせればよいのかわからない!

レコードについての問い合わせをしようと、作成・修正館の参加組織情報を見ても、目録担当部局についての情報が記録されていないため、連絡先が分からず困ることがあります。

また、参加組織情報にある連絡先が古かったために、送ろうとしたFAXがエラーになってしまうこともあります。

こんな時、他の手段で正しい連絡先を調べなければならず、手間も時間もかかります。

スムーズなレコード調整を行うためにも、常に参加組織情報には、目録担当部局に関する正しい情報が記録されている必要があります。一度、自館の参加組織情報を確認してください。もし、必要な情報が記録されていない場合は、早急に入力してください。

目録担当部局に関する項目は、次のとおりです。

- CATDEPT: 目録担当部局名(係名など)
- CATTEL: 目録担当部局の電話番号
- CATFAX: 目録担当部局のFAX番号
- EMAIL: 目録/ILL担当部局のEmailアドレス

(入力例)

```
<FA000015> CRTDT:19900917 RNWDT:20020808
NAME:国立情報学研究所 コンテンツ課||コクリツジョウホウガクケンキユウジョ コンテンツカ
RYAKU:情報研 CAT||ジョウホウケン CAT
ADDRESS 101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
:
(略)
:
CATDEPT:図書:コンテンツ課品質管理室
CATTEL:03-4212-2356
CATFAX:03-4212-2375
CATDEPT:雑誌:コンテンツ課文字情報係
CATTEL:03-4212-2361
CATFAX:03-4212-2375
EMAIL:BOOK:tosho@nii.ac.jp
EMAIL:SERIAL:gakuso@nii.ac.jp
EMAIL:ILL:illadm@nii.ac.jp
```

目録担当部局についての情報です。
各参加館で入力してください。

CATDEPT,CATTEL 及び CATFAX は繰り返して入力することができます。

EMAIL は、本誌 6 号「電子メールによるレコード調整及び参加組織ファイルへのメールアドレス登録」を参照し、既定の書式で入力してください。

具体的な編集操作方法については、クライアント毎に異なりますので、お使いのクライアントの操作マニュアル等を御覧ください。

一旦登録した後も、参加組織情報は、常に最新の正しい情報を記録するよう御注意ください。

事例 5) 「@@@999999999,YYMMDD ==> BN999999999」の注記って何?!

参加館から重複との報告があったレコードは、NII にて重複と確認でき次第、次のような注記を入れています。

(例)

NOTE: @@@00001473, 010615 ==> BN11417803

NII 管理番号 入力日付 付替先 ID

これは、「BN11417803 の重複レコードです」という意味です。

このような注記のあるレコードがヒットした場合、このレコードに対し所蔵を登録することも、親書誌として採用することもできません。レコードは、付替先 ID (例では BN11417803) のものを採用してください。

なお、この注記は、NII がレコード調整のために記録するものですので、各参加組織の目録担当者は書き込まないでください。

事例 6) 情報源を送るのは雑誌だけ?

雑誌書誌の新規作成・修正及びタイトル変遷報告の際には、必ず情報源の同封をお願いしていますが、図書レコード調整依頼時にも、情報源を添えてお送りください。

実際の資料を確認せずに報告だけをもとに判断するには限界があり、折り返しこちらから報告館に情報源を依頼することが多くなっています。

レコード調整の迅速化のため、御協力をお願いします。

(コンテンツ形成管理係)

ドイツでの目録システム講習会開催

目録所在情報サービスは、国内のみならず、欧州各国や中国など、国外の学術研究機関でも利用されています。本研究所では、これらの海外の参加機関を対象とした「目録システム講習会」を随時開催してきました。

今回、昨年のケルンに引き続きドイツ及びスイスの目録所在情報サービス参加機関等を対象として、平成14年7月22日～26日に、ミュンヘン大学東アジア研究所日本学科、日本資料図書館連絡会及び国際交流基金との共催で、ミュンヘン大学及びバイエルン科学アカデミーのライプニッツ計算機センターを会場として「目録システム講習会」を開催しました。

本講習会は、カリキュラムを初級コース(3日間)及び上級コース(2日間)に分けて、国内開催と同等の内容を実施しました。受講者は熱心に取り組み、13機関20名の方が修了されました。

また、昨年同様、NACSIS-CATに入力したデータを各図書館でのOPACとして利用できるSPCATサービスについても、ドイツ参加機関の所蔵分を例として、画面構成や検索方法などを紹介しました。



実習風景



研修参加者との記念撮影

(成果普及課)

グローバル ILL (ILL システム間リンク) 利用申込募集

以下の要領で、「グローバル ILL 利用申込 [OCLC 版]」を募集します。

なお、ILL システム間リンクを使った国際的な ILL 業務は、「国際 ILL」「OCLC との ILL システム間リンク」と表現していましたが、今後は、「グローバル ILL」と表現します。

1 グローバル ILL の概要

日米大学図書館間の協議及び国立情報学研究所と OCLC Online Computer Library Center Inc. との協議の結果、NACSIS-ILL と OCLC の ILL システムとの接続(「ILL システム間リンク」)が実現し、平成 14 年 4 月 15 日からこの ILL システム間リンクによる国際的な ILL 業務の運用(「グローバル ILL」)が開始されました。

この結果、NACSIS-ILL 参加館は、「グローバル ILL」に参加することによって NACSIS-ILL を使用した OCLC メンバー館への文献複写依頼が可能となり、また逆に OCLC メンバー館からの依頼を受け付けることにもなります。ただし、OCLC メンバー館との ILL 業務には従来の ILL クライアントは、使用できません。現時点では、「ISO ILL プロトコル対応 WebUIP」を使って業務を行うこととなります。また、OCLC メンバー館との ILL 業務に関する料金の支払・請求は、OCLC の日本代理店である紀伊國屋書店を通じて処理することとなります。

現在、グローバル ILL [OCLC 版] には、以下の 4 項目の制限があります。

(1) 業務の限定：

- ・対象業務を文献複写に限定しています(現物貸借も準備が整い次第、開始を予定しています)。

(2) 依頼先・受付先の限定：

- ・ILL 業務を行えるのは、グローバル ILL 参加館同士のみです。OCLC のメンバー館であっても、このグローバル ILL に参加していない図書館との依頼・受付はできません。平成 14 年 8 月末現在のグローバル ILL の参加館数は、日本側 54 館(48 機関)、北米側 26 館(24 大学)です。

(3) 所蔵情報の確認方法：

- ・北米側参加館の OPAC 等を検索して確認します。平成 14 年 8 月末現在、NACSIS-ILL を利用した北米側参加館の目録検索はできません。

(4) レンディング・ポリシーの確認方法：

- ・OCLC メンバー館のレンディング・ポリシー等の参加館情報を、NACSIS-ILL から参照することはできません。北米側参加館の情報は、国立情報学研究所で用意する以下の URL を御参照ください。

URL: <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/ILL/ISO/OCLC-member-policy.html>

グローバル ILL に参加するためには、目録所在情報サービス利用申請とは別に申込手続きが必要です。別紙 1「グローバル ILL 利用申込書」に必要事項を御記入の上、以下の「2 申込先/問合せ先」へ FAX にてお送りください。申込手続きに関する注意事項については、「3 申込手順」を御参照ください。

なお、「グローバル ILL」、「ILL システム間リンク」に関する情報は、以下の WWW ページで

随時広報しますので、御参照ください。「グローバル ILL 利用申込書」は、このページからも入手可能です。

URL: <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/INFO/ILL/ISO/>

2 申込先／問合せ先

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
国立情報学研究所 開発・事業部コンテンツ課計量情報係
FAX : 03-4212-2375
illadm@nii.ac.jp

3 申込手順

グローバル ILL への参加申込は、プロフィール()登録の有無によって、手順が異なります。以下の該当する手順で申し込みをしてください。

① プロフィール未登録の場合:

OCLC のシステムへプロフィール登録をしていない場合は、「手順 1: プロフィール未登録の参加館の場合」に従って申し込んでください。

こちらに該当する図書館の場合、別紙 1「グローバル ILL 利用申込書」の「OCLC シンボル」の項目に記入する必要は、ありません。

プロフィール登録をしているかどうか不明な場合も手順 1 に従って申し込んでください。

② プロフィール登録済の場合:

OCLC システム利用のため、既にプロフィール登録をしている場合は、「手順 2: プロフィール登録済の参加館の場合」に従って申し込んでください。

グローバル ILL を利用する場合、OCLC システムにおいてプロフィールの設定内容を ISO ILL プロトコル対応に変更する必要があります。また、NACSIS-ILL システムでも設定の必要がありますので、この手順で申し込んでください。

なお、設定内容を変更した後、OCLC ILL インターフェースを利用した ILL 業務は、できなくなります。

プロフィールとは、OCLC システムにおけるメンバー館の管理情報です。プロフィール登録の結果、個々のメンバー館を識別するためのコードである OCLC シンボルが付与されます。

一つの図書館に割り当てられたシンボルは、OCLC のオンライン・カタログと ILL の両方のシステムで使用します。

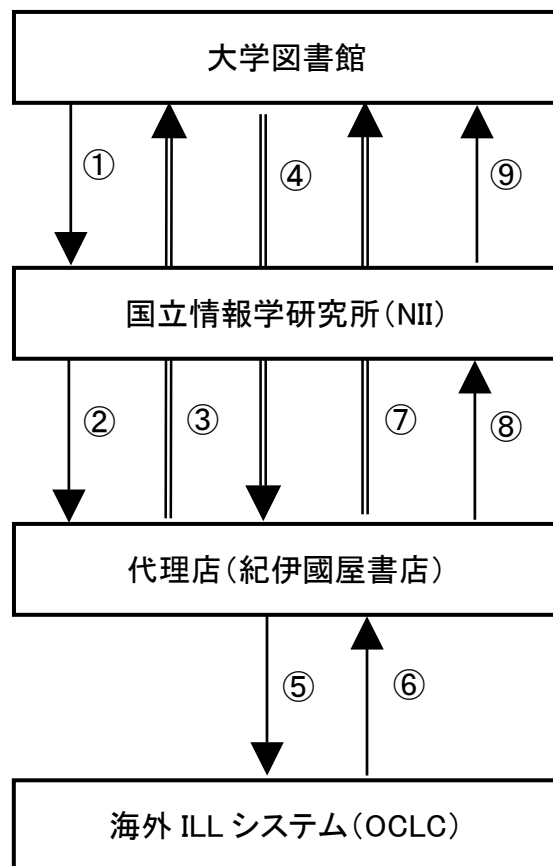
そのため、オンライン・カタログのためにプロフィール登録をしている場合、今回のグローバル ILL のために改めてプロフィール登録する必要は、ありません。

しかし、First Search のみの利用の場合、OCLC シンボルは付与されますが、プロフィールは、登録されていないので、改めてプロフィール登録の手続きが必要です。

プロフィール登録は、代理店を通して「プロフィール登録」("Application for User Status")の申請が必要です。登録の際には、登録料として約 6 万円がかかります。

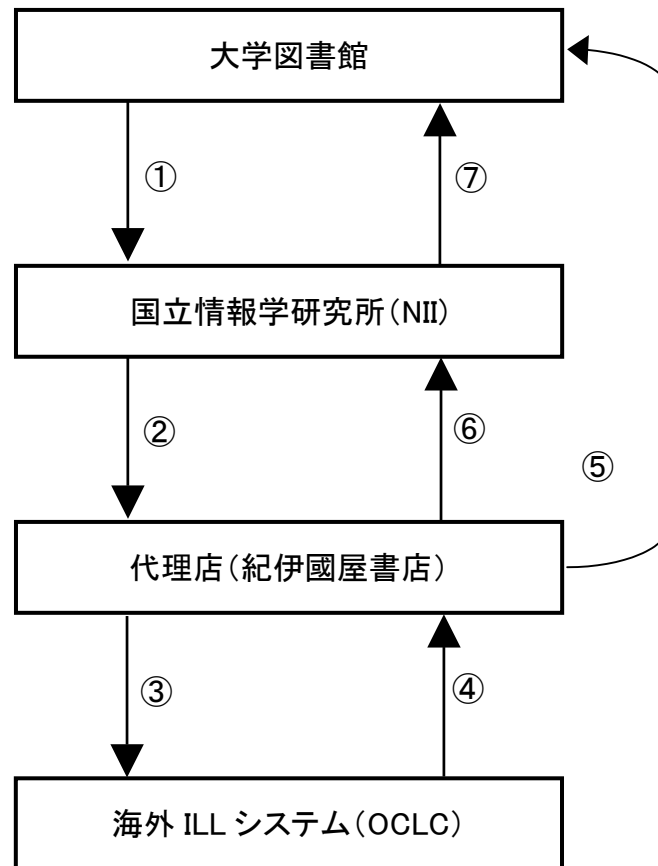
(計量情報係)

手順 1: プロファイル未登録の参加館の場合



① 「グローバル ILL 利用申込書」の送付	大学図書館→NII
② 「グローバル ILL 利用申込書」コピーの送付	NII→代理店
③ OCLC 申込用紙(“Application for User Status”)の送付	代理店→大学図書館
④ 内容確認の上, ③に責任者のサインをして, 代理店へ返送	大学図書館→代理店
⑤ プロファイル登録に必要な書類を作成し, OCLC へ送付	代理店→海外 ILL システム
⑥ プロファイル登録作業完了後, OCLC シンボル, ユーザ ID, パスワードを代理店へ送付	海外 ILL システム→代理店
⑦ OCLC シンボル, ユーザ ID, パスワードを大学図書館へ送付	代理店→大学図書館
⑧ OCLC シンボルの通知	代理店→NII
⑨ WebUIP 利用通知	NII→大学図書館

手順 2: プロファイル登録済の参加館の場合



① 「グローバル ILL 利用申込書」の送付 (OCLC シンボルは, この時点で申請書に記入)	大学図書館→NII
② 「グローバル ILL 利用申込書」コピーの送付	NII→代理店
③ プロファイル登録内容の変更通知を OCLC へ送付	代理店→海外 ILL システム
④ プロファイル登録内容変更作業完了通知	海外 ILL システム→代理店
⑤ 作業完了通知	代理店→大学図書館
⑥ 作業完了通知	代理店→NII
⑦ WebUIP 利用通知	NII→大学図書館

[OCLC]

グローバル ILL 利用申込書

平成 年 月 日

(フリガナ)	
機 関 名	
[英語名]	
部 署 名	
[英語名]	
(フリガナ)	
住 所	〒
申請責任者 1	(フリガナ)
氏 名	(漢字)
	(ローマ字)
職 名	(英文)
担当者	(フリガナ)
氏 名	(漢字)
	(ローマ字)
職 名	(英文)
電話番号	
FAX 番号	
E-mail アドレス	
参加組織レコード ID	FA
OCLC シンボル 2	
WebUIP の利用	希望する ・ 利用予定端末台数： 台 ・ 利用開始希望日： 平成 年 月 日
	希望しない 使用 ILL クライアント名：

1 「申請責任者」は、図書館事務組織の長（相当）、もしくは、担当部署の長。

2 「プロフィール登録」が完了している場合のみ、御記入ください。

会議開催報告（平成 14 年 4 月～8 月）

平成 14 年度第 1 回図書館情報委員会

[日時]

平成 14 年 7 月 12 日(金) 10:00-12:00

[場所]

国立情報学研究所 20 階会議室

[議事]

（審議事項）

1. 平成 14 年度小委員会の設置について

（報告事項）

1. 目録所在情報サービスの現況について
2. 平成 13 年度小委員会の審議状況について
3. コーディングマニュアルの改訂について
4. メタデータ・データベース共同構築事業について
5. 全国漢籍データベース協議会との連携について
6. 海外書誌ユーティリティとの連携について
7. 平成 14 年度教育研修事業について

本委員会は、「国立情報学研究所総合目録委員会」を改称し、平成 14 年度より新たに設置されたもので、目録所在情報の形成ならびに学術情報の流通に係る課題等についての審議を目的としています。

平成 14 年度第 1 回目の審議の結果、本委員会のもとに、次の 3 つの小委員会設置が承認されました。

- 「和漢古書等の取扱いに関する小委員会」
- 「ネットワーク情報資源のメタデータ・データベース（仮称）の共同構築に関する小委員会」
- 「アラビア文字資料の取扱いに関する小委員会」

なお、本委員会の委員は次のとおりです。任期は平成 16 年 3 月末までの 2 年間です。

国立情報学研究所図書館情報委員会 委員

氏名	所属・役職
上田 修一	慶應義塾大学文学部教授
加藤 好郎	慶應義塾大学三田メディアセンター事務長
金森 実	東京都立中央図書館サービス部資料管理課長
北 克一	大阪市立大学学術情報総合センター教授

高田 時雄	京都大学人文科学研究所教授
田村 潤二	東京大学附属図書館事務部長
近内 丈巳	横浜市立大学学術情報センター事務長
永田 治樹	図書館情報大学図書館情報学部教授
長野 由紀	国際基督教大学図書館長
西田 元子	国立国会図書館書誌部主任司書
福田 洋一	大谷大学文学部助教授
国立情報学研究所内	
羽鳥 光俊	開発・事業部長
宮澤 彰	学術研究情報研究系研究主幹
影浦 峯	助教授
神門 典子	助教授
大埜 浩一	開発・事業部次長

第1回 メタデータ・データベース試行運用連絡会議

[日時]

平成 14 年 6 月 14 日(金)10:00~12:00

[場所]

国立情報学研究所 20 階会議室

[議事]

1. 試行運用について
2. メタデータ・データベース構築システムについて
3. 今後の進め方について

第2回 メタデータ・データベース試行運用連絡会議

[日時]

平成 14 年 7 月 19 日(金)10:00~12:00

[場所]

国立情報学研究所 20 階会議室

[議事]

1. 試行運用経過報告
2. 班別審議
(記述要素, 選定基準, システム, 既存データとの連携)
3. 全体審議

(コンテンツ形成管理係)